

令和5年度
年報

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。

3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。

4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	960円	1人に 800円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			103,980円
講堂	15,030円	17,350円	26,640円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,430円	1人に 1,240円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,360円	1人に 1,750円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	3,580円	1人に 2,780円 つき

令和5年度事業概要

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	911点
寄贈資料受入れ総数（同上）	2,749点
計	3,660点
整理・保存 閲覧	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等 利用者 延 2,663人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (310日間)	5,163	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料約1,350点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
ファミリー文学館 ネコ！ねこ！猫！！ II	4/15(土) ～ 6/11(日) (50日間)	4,595	本展は2015年度に開催し大変好評だった。今年度は新たな作品を加え、小説・詩・短歌・俳句・川柳・絵本・童話の中から描かれている猫を紹介。よりパワーアップしてPart2を開催し、親子で絵本を楽しめるコーナーも設け子供から年輩の人まで楽しめる内容で展示。
特別展 小津安二郎 世界が愛した映像詩人	6/24(土) ～ 8/20(日) (50日間)	2,151	2023年は、小津安二郎の生誕120年であり没後60年。映画のオールタイムベストテンでもっとも権威があるとされる英国映画協会の「Sight&Sound」誌が10年に一度選出するベストテンで2012年に『東京物語』が第1位となるなど、世界的に注目され続ける映画監督であり、小津の世界に魅せられた北海道関係の研究者の研究などを交え、さまざまな角度から小津映画の魅力に迫った。
特別展 『スーホの白い馬』の 画家 赤羽末吉	9/9(土) ～ 11/7(火) (52日間)	3,747	絵本『スーホの白い馬』は、馬頭琴の由来を雄大なモンゴルの風景のうちに表現して、出版から55年余を経てなお、日本中の子どもたちに読み継がれている。赤羽末吉はこの絵本を始め、日本、そしてモンゴルや中国の少数民族の民話に取材し、80年の生涯で80冊もの絵本を発表した。赤羽末吉の画業を紹介しつつ、独特の「雪」の表現や、アイヌの民話に取材した「けちんぼおおかみ」についても注目した。
特別展 左川ちか 黒衣の明星	11/18(土) ～ 1/21(日) (51日間)	1,636	北海道余市生まれの詩人・左川ちかは、小樽の高等女学校を卒業後、上京し、兄の友人で同郷の伊藤整らとともに、新しい詩の形を求めて翻訳や詩作を開始した。故郷の景色を詩想として培いながら、J.ジョイスやV.ウルフなどの翻訳も時代に先駆けて行い、優れた言語感覚と独自の美学によって当時のモダニズム詩壇の最前衛に立った。本展では、近年、再評価の機運が高まる左川ちかの短くも鮮烈な生涯とその詩の世界を、北海道の風土と芸芸、モダニズム詩壇の興隆、翻訳の時代、現代における再生といった視点で探った。
特別展 100年の時を超える <明治・大正期刊行本> 探訪	2/3(土) ～ 3/24(日) (44日間)	1,291	当館では、明治・大正期に刊行された書籍を数多く所蔵しており、それらの中には、現在では貴重な初版本もある。また色鮮やかでモダンな装幀の本であったり、さらに当時の社会情勢が反映された内容だったり、時代の息吹を感じさせるものばかりである。 2026年、大正が幕を閉じて100年を迎える。それに先立ち本展では、有島武郎、石川啄木、萩原朔太郎、三木露風、宮沢賢治、室生犀星、与謝野晶子など、道内外の明治・大正の著名作家の作品をピックアップし、刊行からおよそ100年の歴史をもつ所蔵本を一堂で紹介した。

【常設展アーカイブ】

- ・第1期展示 [4月11日(火)～6月25日(日)]
川上澄生の世界
南蛮、文明開化や北海道を題材とした懐古的詩情あふれる世界を紹介
- ・第2期展示 [7月11日(火)～10月1日(日)]
川柳・斎藤大雄の宇宙
斎藤大雄が描き、遺した川柳の世界を紹介
- ・第3期展示 [10月17日(火)～12月28日(木)]
文学館コレクション 新収蔵品から
近年に収集した北海道文学などの資料の中から厳選して紹介
- ・第4期展示 [1月16日(火)～3月24日(日)]
来道歌人の詠んだ北海道
晶子、茂吉、牧水らが北海道で読んだ短歌を自筆資料を交え紹介
- ・スペシャル [3月28日(木)～4月6日(土)]
「H子」受贈記念 加清純子作品公開
油彩「H子」受贈を記念して、既収蔵作品と合わせ15点を展示

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良ほか〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」原稿、北方謙三「林蔵の貌」原稿、高倉新一郎『覆刻札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」原稿、石川啄木「雲は天才である」原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」原稿、森田たま「きもの博士」原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」原稿、久保栄「火山灰地」原稿、本庄陸男「逆流」原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」原稿、中村武羅夫色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」原稿、石塚喜久三『花の海』、坂本直行カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」原稿、風巻景次郎「札幌地理学」原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」原稿、李恢成色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆)、高橋揆一郎『「伸子」覚え書き』原稿 ◆変転する現代 渡辺淳一「リラ冷えの街」原稿、北海道ゆかりの芥川賞・直木賞受賞作家と作品 ◆文学マップ「小説の中の北海道」

〈アイヌ民族の文学〉〔青柳文吉〕

知里幸恵、金成マツ、金田一京助、知里真志保、バチェラー八重子、森竹竹市、萱野茂、違星北斗、鳩沢佐美夫、杉村キナラブック、砂沢クラ、山本多助、葛野辰次郎、宇梶静江、北原モコットウナシ、小笠原小夜

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元「北の墓標」原稿、吉村昭「北天の星」原稿、李恢成『サハリンへの旅』、寒川光太郎「(オロッコ族)」原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」扁額、小熊秀雄「裸婦」原画 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」原稿、和田徹三「命」原稿、河邨文一郎「オホーツク」原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井広治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その

主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪、佐々木丁冬ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治より昭和（前期）まで 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西島〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和20年代より平成7年まで 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆現在の活動状況 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

Ⅲ 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）率	備考
ファミリー文学館（朗読会等）	朗読会「猫の時間」 朗読：澤井貴良子（朗読講師）、田村英一（ナレーター）、安藤千鶴子（音声表現講師）	4月30日（日） 5月14日（日） 5月28日（日）	60	92	153.3%	「ファミリー文学館」展 関連事業
〃	“猫”川柳句会 講師：岡崎守（北海道川柳連盟顧問）	5月3日（水・祝）	10	9	90.0%	〃
〃	絵本の読み聞かせ「ネコと遊ぼう！」 講師：読み聞かせボランティア「トムテ」、当館職員	5月21日（日）	10	12	120.0%	〃
〃	大人のためのワークショップ「猫・豆本をつくろう！」 講師：山田白百合（イラストレーター、手作り絵本講師）	5月27日（土）	10	12	120.0%	〃
〃	子どものためのワークショップ 「ネコのうちわをつくろう！」 講師：当館職員	6月11日（日） 午前・午後	10	20	200.0%	〃
講演会・セミナー・講話等	講演会「小津安二郎と北海道」 講師：中澤千磨夫（財団副理事長）	7月1日（土）	50	42	84.0%	「小津安二郎」展 関連事業
〃	無声映画鑑賞会「突貫小僧」「出来ごころ」 出演：澤登翠（活動写真弁士）	7月8日（土）	200	173	86.5%	〃
〃	映画会「東京物語」（兼第1回映像作品鑑賞会）	6月25日（日）				〃 目標値、観覧者数は映像作品鑑賞会に計上
〃	映画会「東京暮色」	7月23日（日）	50	49	98.0%	〃
〃	映画会「秋刀魚の味」	7月29日（土）	50	47	94.0%	〃
〃	対談「今日も今日とて、小津日和」 対談：築山秀夫（小津資料収集家）、中澤千磨夫	8月5日（土）	50	42	84.0%	〃
〃	オープニング・セレモニー	9月9日（土）	20	15	75.0%	「赤羽末吉」展 関連事業
〃	講演会「スーホの草原にける虹 －赤羽末吉の人生と絵本－」 講師：赤羽茂乃（赤羽末吉研究者）	9月9日（土）	50	51	102.0%	他にオンライン 申込120名
〃	読み聞かせ&ワークショップ 「「おへそがえる・ごん」と遊ぼう」 講師：当館学芸員	9月17日（日） 午前・午後	20	22	110.0%	〃
〃	ギャラリートツアー 解説：当館学芸員	9月30日（土） 10月14日（土） 10月28日（土）	50	32	64.0%	〃
〃	講演会「モンゴルの風」 講演：松田ヒシグスレン（詩人、小説家）	10月7日（土）	50	35	70.0%	〃
〃	馬頭琴と朗読の会 出演：嵯峨治彦（馬頭琴奏者）、嵯峨孝子（朗読者）	10月22日（日）	50	62	124.0%	〃
〃	講演会「子どもの中に残る絵本の世界」 講師：藤田春義（児童文学者、大学講師）	11月4日（土）	50	48	96.0%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率	備考
講演会・セミナー・講話等	講演会「入門左川ちかーその<モダニズム>の実相」 講師：高橋秀明(詩人、財団理事)	11月12日(日)	50	42	84.0%	「左川ちか」展 関連事業
〃	ポエトリー・リーディング「左川ちかの詩を読む」 朗読：柴田望、二条千河(詩人)他、演奏：SAYO	11月23日(木・祝)	50	50	100.0%	〃
〃	講演「左川ちかと同時代の女性詩人について」 対談「左川ちかの現代性」 講師：川村湊(評論家)、対談：川村湊、島田龍(研究者)	11月26日(日)	50	53	106.0%	〃
〃	映像上映会「外人部隊」	11月29日(水) 12月20日(水) 1月7日(日)	60	67	111.7%	〃
〃	講演会「左川ちかと同時代の美術について」 講師：若名直子(当館副館長)	1月14日(日)	50	39	78.0%	〃
〃	ミニ解説&朗読会 解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者	8回開催 2/17,2/21,2/28,3/2, 3/6,3/13,3/16,3/20	160	248	155.0%	「100年の時を超える」展 関連事業
〃	コンサート「歌声とともに」 出演：安達彩子(ボーカル)、森希美(ピアノ演奏)	3月3日(日)	50	48	96.0%	〃
夏休み文学道場	「夏休み文学道場」(動画配信、対面・オンライン開催)	7月21日(金)~8月24日(木)、 8月9日(水)	30	22	73.3%	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰(募集)	7月1日(土)~9月12日(火)	4,300	5,356	124.6%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12月17日(日)		75	41.7%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト作品展示	12月9日(土)~1月14日(日)		523		
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催 5/5,6/4,7/2,7/30,8/2-3, 8/6,9/3,10/1,11/5,12/3, 12/10,12/24,1/8,2/4,3/3	450	305	67.8%	5/5は2回実施
映像作品鑑賞会	「東京物語」	6月25日(日)	60	45	75.0%	
映像作品鑑賞会	「青春の海」	8月27日(日)	60	36	60.0%	
映像作品鑑賞会	「乳房よ永遠なれ」	11月19日(日)	60	44	73.3%	
映像作品鑑賞会	「燃えよ剣」	2月18日(日)	60	42	70.0%	
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	23市町村26会場	1,200	1,437	119.8%	
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	3市町村3会場	3,000	2,771	92.4%	
文字・活字文化の振興事業	講演会「ルーマニア・マラムレシュ-中世の化石-」 講師：みやこうせい(フォト、エッセイ、ルポ作家)	10月29日(日)	60	37	61.7%	
文字・活字文化の振興事業	写真展示「マラムレシュ-世界の中心」 写真：みやこうせい	10月29日(日) ~11月7日(火)		583		
古典の日記念朗読会	古典の日にちなみ、古典文学作品を朗読 「堤中納言日記」より「虫好きの御姫様」 朗読：安藤千鶴子(音声表現講師)、琴演奏：手塚早苗	11月3日(金・祝)	60	50	83.3%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵ほか	10回開催 5/11,6/8,7/13,8/10,9/14, 10/12,11/9,12/14,2/8,3/14	500	377	75.4%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2023」 展示室の夜間開館、朗読会、ミニコンサート、 古書バザール等を実施	7月21日(金)	200	185	92.5%	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(310日間)	4,200	2,663	63.4%	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(310日間)		511		
負担金事業計			15,500	16,372	105.6%	
※ 文学館カレッジ	・宮沢賢治を深く読むⅡ、俳句・川柳の世界、絵本を学ぶ-SDGsから絵本を見る、続・永井荷風の日記を読む、生涯読書会の5講座	6~3月	500	249	49.8%	
※ ロビーコンサート	チェロコンサート 演奏：西村新一 クラシックギターコンサート 演奏：デュオ・フェルマータ、鉢呂勝徳、鹿野誠一、佐々木みことほか	11月1日(水)、 3日(金)、5日(日)	100	102	102.0%	
※ 中島公園ぶんがく緑日	有島武郎没後100年記念講演会・シンポジウム、 講演会「文学の未来と未来への適応」、絵本交換会	10月8日(日)、 9日(月)	100	413	413.0%	「文学の未来と未来への適応」 他に動画視聴数166回
※ ぶらり文学散歩	身近な土地と文学の関わりを解説	7/4、10/20、10/31	30	23	76.7%	
※ 文学館まつり	トーク、一日限りの資料公開、親手手作りコーナー、 秋の色紙づくり、ミニコンサート、講演会	9月23日(土・祝)	150	156	104.0%	
※ ロビー展示	文学への関心等を促すため収蔵品資料等を展示	4/8~7/5,7/9~9/29, 9/30~11/23,1/21~3/31 全4回		6,699		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(186日間)	100	17	17.0%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	25	4.2%	
財団企画事業計			1,580	7,684	486.3%	
	合計		17,080	24,056	140.8%	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① ファミリー文学館「ネコ！ねこ！猫！！Ⅱ」関連資料調査
- ② 特別展「小津安二郎～世界が愛した映像詩人～」関連資料調査
- ③ 特別展「『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉」関連資料調査
- ④ 特別展「左川ちか 黒衣の明星」関連資料調査
- ⑤ 特別展「100年の時を超える－＜明治・大正期刊行本＞探訪－」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「虚子・年尾と北海道」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「絵本作家 降矢なな 原画展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「氷室冴子の世界 ふくれつつらのヒロインたち」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館「雪が降る－本の中にも、文字の上にも……」関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「木原直彦と北海道の文学」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

(後援)

- ① 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第29回中川町短歌フェスティバル（令和5年10月8日 中川町）
- ② 特定非営利活動法人 絵本・児童文学研究センター
第27回文化セミナー 越境という名の文化（令和5年11月26日 小樽市）
- ③ 北海道詩人協会
北海道詩人協会2023北の詩祭（令和5年10月29日 札幌市）
- ④ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
ウクライナ支援 朗読とハーブ（令和5年12月17日 札幌市）

(共催)

- ① 天使の詩実行委員会
横山マリアミルキーウェイウインターコンサート（令和6年3月24日 当館）

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、新聞等での有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第133号（7月12日付）、第134号（10月20日付）、第135号（12月25日付）、第136号（3月6日付）を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「小津安二郎～世界が愛した映像詩人～」図録の刊行
- ② 特別展「『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉」リーフレットの刊行
- ③ 特別展「左川ちか 黒衣の明星」リーフレットの刊行
- ④ 特別展「100年の時を超える－＜明治・大正期刊行本＞探訪－」リーフレットの刊行
- ⑤ 「令和4年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
令和5年9月13日～9月20日（6日間）、実習生4名
令和6年1月10日～1月17日（6日間）、実習生4名

■ 統計・資料 ■

I 令和5年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展		特 別 展				計		
	北海道の文学	ファミリー文学館	小津安二郎展	赤羽末吉展	左川ちか展	100年の時を超える展			
開催日数	310	50	50	52	51	44			
有 料	個 人	一 般	719		1,503	2,547	441	267	5,477
		高大生	186		67	62	29	36	380
		小中生			14	141			155
		小 計	905		1,584	2,750	470	303	6,012
	団 体	一 般	628		237	305	169	180	1,519
		高大生	188		27	84	41	43	383
		小中生							0
		小 計	816		264	389	210	223	1,902
免除・招待	3,442	4,595	303	608	956	765	10,669		
観覧者総数	5,163	4,595	2,151	3,747	1,636	1,291	18,583		

II 令和5年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月 別												計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
負 担 金 事 業	展 覧 会 事 業	常設展	416	423	510	472	464	450	574	553	283	258	287	473	5,163
		ファミリー文学館	1,876	2,052	667										4,595
		小津安二郎展			235	883	1,033								2,151
		赤羽末吉展						939	1,872	936					3,747
		左川ちか展								369	553	714			1,636
		100年を超える展											555	736	1,291
		小 計	2,292	2,475	1,412	1,355	1,497	1,389	2,446	1,858	836	972	842	1,209	18,583
	教 育 普 及 事 業	講演会・セミナー・講話等				311	42	97	120	209	13	77	92	204	1,165
		夏休み文学道場					22								22
		小中高生短歌コンテスト						5,356			383	215			5,954
		ファミリー文学館	33	92	20										145
		映像作品鑑賞のつどい			45		36			44			42		167
		地域連携事業 「文学館出前講座」		98	343	94	106	47	353	396					1,437
		地域連携事業 「ミニ巡回展」					800			455			1,516		2,771
		文字活字文化振興事業							37	583					620
		古典の日記朗読会								50					50
		月例朗読会		19	15	42	99	38	33	28	38		21	44	377
		わくわくこどもランド		78	16	51	14	5	12	34	46	25	5	19	305
		文化施設連携事業 カルチャーナイト2023					185								185
		文学資料の利用 (資料閲覧・共同研究)	234	232	209	255	265	223	233	220	157	198	185	252	2,663
小 計	267	519	648	938	1,384	5,766	788	2,019	637	515	1,861	519	15,861		
文学愛好団体の文学活動	16	14	47	16	79	67	15	65	70	18	74	30	511		
計	283	533	695	954	1,463	5,833	803	2,084	707	533	1,935	549	16,372		
負担金事業計	2,575	3,008	2,107	2,309	2,960	7,222	3,249	3,942	1,543	1,505	2,777	1,758	34,955		
自 主 企 画 事 業	教 育 普 及 事 業	文学館カレッジ			23	33	33	34	35	40	33	6	6	6	249
		ロビーコンサート								102					102
		中島公園ぶながく縁日							413						413
		ぶらり文学散歩				9			14						23
		文学館まつり(9/23)						156							156
		ロビー展示	731	887	551	593	626	605	994	677		101	332	602	6,699
		文学館探検クイズ	1	1		1	1	3	3	4	1	2			17
		文化公演の活動 (コンサート、朗読会)												25	25
		自主企画事業計	732	888	574	636	660	798	1,459	823	34	109	338	633	7,684
		ボランティア活動状況		5	6	5	1	6	16	2	6		10	5	62
その他(喫茶コーナー)	269	195	206	211	210	231	344	237	155	117	89	149	2,413		
合 計	3,576	4,096	2,893	3,161	3,831	8,257	5,068	5,004	1,738	1,731	3,214	2,545	45,114		

Ⅲ 令和5年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	389	430	819
雑 誌 資 料	513	1,560	2,073
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	0	0
特 別 資 料	9	759	768
計	911	2,749	3,660

〈主な収集特別資料〉

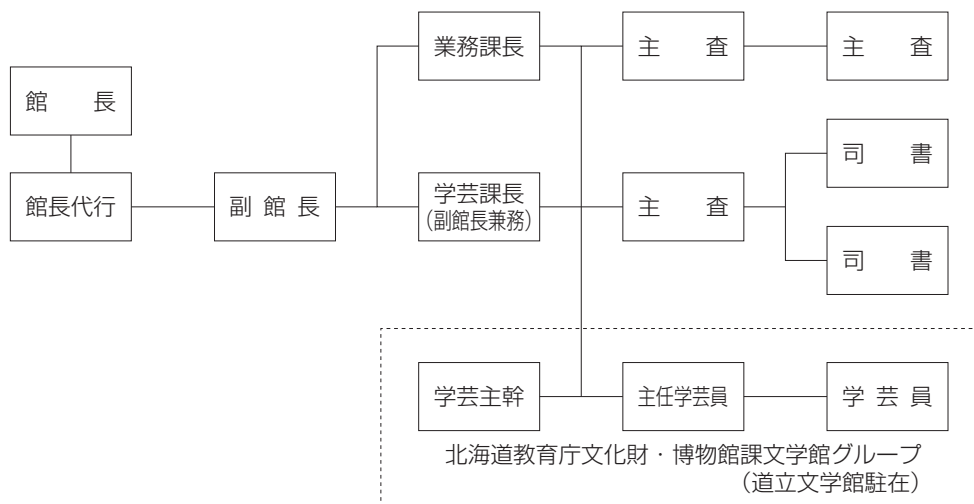
高濱年尾飾り屏風「炭斗のひさごに残る蔓びんと」	1点購入
高浜虚子色紙「遠山に日の当りたる枯野哉」	1点購入
長谷川四郎自筆原稿「ボート屋」(400字詰27枚)	1点購入
長谷川四郎自筆原稿「変形譚」(400字詰30枚)	1点購入

公益財団法人北海道文学館への寄贈

稲村真禮旧蔵戦前紙芝居	32点受贈
柿本胤二絵画「メレヨン島の幻影」「最後の埋葬」など	16点受贈
加清純子絵画「日子」	1点受贈
更科源蔵関係資料(原稿、書簡など)	732点受贈
月居清己旧蔵図書	96点受贈
	ほか

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(令和6年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長	工藤正廣	学芸課 司書	三井沙紀
館長代行 (財団副理事長)	武田信吾	学芸課 司書	佐々木啓子
副館長 (財団専務理事)	苫名直子	北海道教育庁文化財・博物館課 文学館グループ(道立文学館駐在)	
業務課 課長 (財団常務理事)	河野秀平		
業務課 主査	斎藤和巳		
業務課 主査	村瀬公夫	学芸主幹	佐藤由美加
学芸課 課長 (兼)	苫名直子	主任学芸員	吉成香織
学芸課 主査	丹伊田範子	学芸員	浦島七那

■ その他 ■

I 文学館の歩み

年 次	事 項	年 次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		
43	文学に見る北方風物展		
44	北海道旅の文学展		
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展		
46	北海道詩歌展		
47	目で見る札幌文学散歩		
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展		
49	文学に見る札幌風景展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展		
50	札幌の作家展(戦前の巻)、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展(戦後の巻)、川柳に見る戦後の札幌展		
51	碑に見る北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展		
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展		
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展—石森延男・その周辺—		
56	雑誌「北方文学」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	木島健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展—その絵と文学—		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌		
			「核」30周年記念展、和田謹吾理事長就任
		62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
		63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文化賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪—森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
		平成元	胆振文学展・目で見る風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展(札幌、旭川)
		2	児童文学「新十津川物語」展(札幌、新十津川)、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壘」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる—渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展—道東・道北編
		3	市町村文学誌展—道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
		4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記(室蘭)、北の文学風物誌展(冬の巻)、らいらっく文学賞展
		5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
		6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展
			〔北海道立文学館〕
		7	北海道立文学館管理運営業務開始(財団法人北海道文学館受託) 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち(澤田誠一理事長就任)
		8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界

年次	事項	年次	事項
9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔		
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代		
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』		
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展		
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学		
14	特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド～きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂「ひとりの賑やかさ」～根室と霧と芸術家たち～（神谷忠孝理事長就任）		
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館―青森海峡浪漫～（北の20世紀）を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～		
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く―山田秀三の地名研究から―、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～		
18	北海道立文学館指定管理者制度開始（財団法人北海道文学館指定） 特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金		
			次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～
		19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書斎から～
		20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望す―八木義徳
		21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」―60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。―アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む―遙か [樺太] の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
		22	北海道立文学館指定管理者（財団法人北海道文学館指定） 常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてビックリ！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
		23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉るみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録―書簡に見る文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、（公益財団法人北海道文学館に名称変更）
		24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ 絵本の世界―私の木、心の木、ファミリー文学館・幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別

年次	事項	年次	事項
	展・新美南吉誕生100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学		「無言館」展、特別展・極の誘ひ 詩人吉田一穂展—あゝ麗はしい距離、ファミリー文学館・大本靖の版画でたどる北海道四季の風景、特別展・北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～ (平原一良理事長就任)
25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館・絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの—ジブリが読み解く“通俗文化の源流”—、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界—都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって	令和元	特別展・よみがえれ!とこしえの加清純子～『阿寒に果つ』ヒロインの未完の青春～、特別展・歌川広重 ふたつの東海道五拾三次～保永堂版×丸清版～、特別展・ノンフィクション作家・保阪正康の仕事—「昭和史」との対話、ファミリー文学館・人形劇からとび出した人形たち、特別展・砂澤ビッキの詩と本棚
26	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル—後山一郎が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～、ファミリー文学館・“うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の文学—野性よ退化する現代を撃て— (工藤正廣理事長就任)	2	特別展・『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展、特別展・作家たちの交差点—「北の話」が残した時間、ファミリー文学館・おいしい!美味しい!! 文学
27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界—『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代—大正イマジユリイの世界—、特別展・没後50年 文豪・谷崎潤一郎—愛と美を求めて、ファミリー文学館・ネコ!ねこ!猫!!、特別展・「さとぼろ」発見	3	特別展・太宰治—創作の舞台裏、特別展・天災地変人禍に抗して—北海道の災害と文学—、ファミリー文学館・彫り続けた北の自然—絵本画家・手島圭三郎の40年、特別展・小説挿絵の魅力—文芸作品に伴走して、特別展・「よみがえれ!とこしえの加清純子」再び
28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰志の場所(トボス)、特別展・ミッフィーのたのしいお花畑～ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展、特別展・2016年の宮沢賢治—科学と祈りのこころ、ファミリー文学館・ワン!ニャン!どっちも大好き、特別展・「手仕事の日本」と民藝の思想	4	ファミリー文学館・花・彩々—文学の中に咲く—、特別展・地図と文学の素敵な関係、特別展・金子みすゞの世界、特別展・没後10年吉本隆明—廃墟からの出立、特別展・細谷源二と齋藤玄 北方詩としての俳句
29	特別展・ふみくらの奥をのぞけば—文学館・珠玉の300選、特別展・「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒、特別展・《サハリン島》2017—アントン・チェーホフの遺産、ファミリー文学館「絵本の動物園へようこそ」、特別展・有島武郎と未完の『星座』	5	ファミリー文学館・ネコ!ねこ!猫!! II、特別展・小津安二郎～世界が愛した映像詩人～、特別展・『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉、特別展・左川ちか 黒衣の明星、特別展・100年の時を超える—<明治・大正期刊行本>探訪—
30	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 特別展・没後50年 子母澤寛 無頼三代蝦夷の夢、特別展・戦没画学生慰霊美術館		

II 運営日誌

令和5年

- 4月8日(土) 第1回ロビー展示「鉄道・北海道の風景 in 文学 PART 1」(～6月18日)
4月11日(火) 常設展 文学館アーカイブ第1期「川上澄生の世界」(～6月25日)
4月15日(土) ファミリー文学館「ネコ!ねこ!猫!! II」(～6月11日)
4月30日(日) ファミリー文学館 朗読会「猫の時間」(出演:澤井貴良子)
5月3日(水) ファミリー文学館 “猫”川柳句会(講師:岡崎 守)
5月5日(金) わくわくこどもランド(こいのぼりをつくろう!、講師:当館職員)
5月5日(金) わくわくこどもランド(人形劇、出演:人形劇団ブランコ)
5月11日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループ蔵)
5月14日(日) ファミリー文学館 朗読会「猫の時間」(出演:田村英一)
5月21日(日) ファミリー文学館 読み聞かせ「ネコと遊ぼう!」(出演:読み聞かせボランティア「トムテ」、当館職員)
5月24日(水) 文学館出前講座「文学作品の朗読」(伊達市、出演:田村英一、佐藤洋一)
5月27日(土) ファミリー文学館 大人向けワークショップ「猫・豆本を作ろう!」(講師:山田白百合)
5月28日(日) ファミリー文学館 朗読会「猫の時間」(出演:安藤千鶴子)
6月1日(木) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む 阿久悠の場合」(札幌市、講師:中澤千磨夫)
6月4日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:読み聞かせボランティア「にじいろ」)
6月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループ蔵)
6月11日(土) ファミリー文学館 ワークショップ「ネコのうちわを作ろう!」(講師:当館職員)
6月14日(水) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(札幌市、出演:岸田典大)
6月17日(土) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(稚内市、出演:クレヨンカンパニー)
6月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師:工藤正廣)
6月21日(水) 文学館出前講座「マリオネット人形劇」(平取町、出演:おたのしみ劇場ガウチョス)
6月24日(土) 特別展「小津安二郎～世界が愛した映像詩人～」オープン(～8月20日)
6月24日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(深川市、出演:岸田典大)
6月24日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治を深く読むII、講師:若宮明彦)
6月24日(土) 文学館カレッジ(続永井荷風の日記を読む、講師:中澤千磨夫)
6月25日(日) 第1回映像作品鑑賞のつどい「東京物語」
6月30日(金) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(函館市、出演:岸田典大)
7月1日(土) 小津安二郎展・講演会「小津安二郎と北海道」(講師:中澤千磨夫)
7月2日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:読み聞かせボランティア「こぶたのぶーぶ」)
7月4日(火) ぶらり文学散歩(開拓の村、講師:前川公美夫、細川健裕)
7月7日(金) 文学館出前講座「やさしい俳句入門」(芦別市、講師:瀬戸優理子)
7月8日(土) 第2回ロビー展示「鉄道・北海道の風景 in 文学 PART 2」(～9月10日)
7月8日(土) 小津安二郎展・無声映画鑑賞会「突貫小僧」、「出来ごころ」(弁士:澤登 翠)
7月11日(火) 常設展 文学館アーカイブ第2期「斎藤大雄の宇宙」(～10月1日)
7月12日(水) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(札幌市、出演:クレヨンカンパニー)
7月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読糸の会)
7月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師:工藤正廣)
7月15日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぶ、講師:杉浦篤子)
7月21日(金) カルチャーナイト2023(常設展示室無料開放、特別展示室夜間開館、ミニコンサート、古書バザール、朗読会)
7月22日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治を深く読むII、講師:若宮明彦)
7月22日(土) 文学館カレッジ(続永井荷風の日記を読む、講師:中澤千磨夫)
7月23日(日) 小津安二郎展・上映会「東京暮色」
7月24日(月) ミニ巡回展「ネコ!ねこ!猫!!」(～8月27日、苫前町)
7月29日(土) 小津安二郎展・上映会「秋刀魚の味」
7月30日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・サマーブックをつくろう!、講師:当館職員)
8月2日(水)～3日(木) わくわくこどもランド(手作り教室・紙芝居をつくろう!、講師:当館職員)
8月5日(土) 対談「今日も今日とて、小津日和」(対談:築山秀夫、中澤千磨夫)
8月6日(日) わくわくこどもランド(夏休みスペシャル「絵本パフォーマンス」、出演:岸田典大)
8月9日(水) 夏休み文学道場(中・高生のための創作講座、講師:小路幸也)
8月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読を楽しむ会)
8月12日(土) 月例朗読会スペシャル「有島武郎がたどりついた場所」(出演:本郷 弦)
8月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師:工藤正廣)
8月19日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぶ、講師:藤田 進)
8月24日(木) 文学館出前講座「短歌の鑑賞、創作」(旭川市、講師:田中 綾)

- 8月26日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治を深く読むⅡ、講師：田中 綾)
- 8月26日(土) 文学館カレッジ(続永井荷風の日記を読む、講師：中澤千磨夫)
- 8月26日(土) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(蘭越町、出演：クレヨンカンパニー)
- 8月27日(日) 第2回映像作品鑑賞のつどい「青春の海」
- 9月3日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」、当館職員)
- 9月9日(土) 特別展『「スーホの白い馬」の画家 赤羽末吉』オープン(～11月7日)、オープニングセレモニー実施
- 9月9日(土) 赤羽末吉展・講演会「スーホの草原にかける虹」(講師：赤羽茂乃)
- 9月13日(水) 博物館実習(～9月20日)
- 9月14日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループさ・く・ら)
- 9月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 9月16日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぶ、講師：増山由香里)
- 9月16日(土) 文学館出前講座「いま読み返したい 三浦綾子」(函館市、講師：田中 綾)
- 9月17日(日) 赤羽末吉展・読み聞かせ・ワークショップ「おへそがえる・ごん」とあそぼう(講師：当館学芸員)
- 9月22日(金) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む 阿久悠の場合」(当別町、講師：中澤千磨夫)
- 9月23日(土) 文学館まつり(常設展の無料開放、ミニコンサート、トーク&講演会、一日限りの資料公開、手作りコーナー)
- 9月30日(土) 第3回ロビー展示「鉄道・北海道の風景 in 文学 PART 3」(～11月23日)
- 9月30日(土) 赤羽末吉展・ギャラリー・ツアー(講師：当館学芸員)
- 9月30日(土) 文学館カレッジ(宮沢賢治を深く読むⅡ、講師：田中 綾)
- 9月30日(土) 文学館カレッジ(続永井荷風の日記を読む、講師：中澤千磨夫)
- 10月1日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：札幌静修高校読み聞かせボランティア)
- 10月7日(土) 赤羽末吉展・講演会「モンゴルの風」(講師：松田ヒシグスレン)
- 10月7日(土) 文学館出前講座「いま読み返したい 三浦綾子」(上士幌町、講師：田中 綾)
- 10月8日(日) 中島公園ぶんがく縁日(ぶんがく縁日、絵本交換会、講演会「もうひとつの『生れ出づる悩み』」、シンポジウム「二十一世紀の有島武郎」)
- 10月9日(月) 中島公園ぶんがく縁日(ぶんがく縁日、絵本交換会、講演会「文学の未来と未来への対応」)
- 10月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読表現ゆうの会)
- 10月13日(金) ミニ巡回展「ネコ!ねこ!猫!!」(～11月17日、今金町)
- 10月14日(土) 赤羽末吉展・ギャラリー・ツアー(講師：当館学芸員)
- 10月17日(火) 常設展 文学館アーカイブ第3期「文学館コレクション 新収蔵品から」(～12月28日)
- 10月18日(水) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(七飯町、出演：クレヨンカンパニー)
- 10月19日(木) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む 古閑裕而の場合」(新得町、講師：中澤千磨夫)
- 10月19日(木) 文学館出前講座「俳句を詠もう」(夕張市、講師：五十嵐秀彦)
- 10月20日(金) ぶらり文学散歩(護国神社～文学館、講師：当館職員)
- 10月21日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 10月21日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぶ、講師：横田由紀子)
- 10月22日(日) 赤羽末吉展・馬頭琴演奏と朗読の会(出演：嵯峨治彦、嵯峨孝子)
- 10月27日(金) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(千歳市、出演：クレヨンカンパニー)
- 10月28日(土) 文学館カレッジ(俳句・川柳の世界、講師：岡崎 守)
- 10月28日(土) 文学館カレッジ(続永井荷風の日記を読む、講師：中澤千磨夫)
- 10月28日(土) 赤羽末吉展・ギャラリー・ツアー(講師：当館学芸員)
- 10月29日(日) 文字・活字文化の日関連事業講演会(ルーマニア・マラムレシュ-中世の化石-、講師：みやこうせい)
- 10月29日(日) マラムレシュ・世界の中心 みやこうせい写真展(～11月7日)
- 10月29日(日) 文学館出前講座「いま読み返したい 三浦綾子」(千歳市、講師：田中 綾)
- 10月29日(日) 文学館出前講座「マリオネット人形劇」(苫前町、出演：おたのしみ劇場ガウチョス)
- 10月31日(火) ぶらり文学散歩(エドウィン・ダン記念館、講師：当館職員)
- 11月2日(木) ロビーコンサート(ギター、演奏：吉泉恵子、鉢呂勝徳、山崎隆志・京子、茶木彰・和江)
- 11月3日(金) 文学館出前講座「源氏物語の朗読」(占冠村、出演：堀きよ美、演奏：黒田拓)
- 11月3日(金) 古典の日記念朗読会『堤中納言物語』より「虫好きのお姫様」(出演：安藤千鶴子、演奏：手塚早苗)
- 11月3日(金) ロビーコンサート(ギター、演奏：鉢呂勝徳、佐々木みこと、鹿野誠一)
- 11月4日(土) 赤羽末吉展・講演会「こどもの中に残る絵本の世界」(講師：藤田春義)
- 11月5日(日) わくわくこどもランド(親子で楽しむ人形劇、出演：クレヨンカンパニー)
- 11月5日(日) ロビーコンサート(チェロ、演奏：西村新一)

- 11月5日(日) 文学館出前講座「愉快に楽しく川柳入門」(釧路市、講師：岡崎 守)
- 11月9日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：糸の会)
- 11月12日(日) 左川ちか展・講演会「入門左川ちかーそのモダニズムの実相」(講師：高橋秀明)
- 11月14日(火) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(美唄市、出演：岸田典大)
- 11月17日(金) 文学館出前講座「文学作品の朗読」(帯広市、出演：田村英一、演奏：佐藤洋一)
- 11月18日(土) 特別展「左川ちか 黒衣の明星」オープン(～1月21日)
- 11月18日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 11月18日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぶ、講師：久保田知恵子)
- 11月19日(日) 第3回映像作品鑑賞のつどい「乳房よ永遠なれ」
- 11月19日(日) 文学館出前講座「宮沢賢治作品の朗読とカンテレ演奏」(足寄町、出演：村井裕子、演奏：手島慶子)
- 11月22日(水) 文学館出前講座「絵本を読み直してみましよう」(苫小牧市、講師：杉浦篤子)
- 11月23日(木) 左川ちか展・ポエトリー・リーディング「左川ちかの詩を読む」(出演：柴田望ほか)
- 11月25日(土) 文学館カレッジ(俳句・川柳の世界、講師：五十嵐秀彦)
- 11月25日(土) 文学館カレッジ(続永井荷風の日記を読む、講師：中澤千磨夫)
- 11月26日(日) 左川ちか展・講演会「左川ちかと同時代の女性詩人について」(講師：川村湊)
- 11月26日(日) 左川ちか展・対談「左川ちかの現代性」(対談者：川村湊、島田龍)
- 11月29日(水) 左川ちか展・映画上映会「外人部隊」
- 12月3日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・ツリーをつくろう！、講師：当館職員)
- 12月9日(土) 第18回北海道小・中・高生短歌コンテスト作品展示(～1月14日)
- 12月9日(土) 左川ちか展・対談「詩人・歌人から見た左川ちか」(対談者：文月悠光、北山あさひ)
- 12月10日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・すごろくをつくろう！講師：当館職員)
- 12月14日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読を楽しむ会)
- 12月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 12月16日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぶ、講師：杉浦篤子)
- 12月17日(日) 第18回北海道小・中・高生短歌コンテスト表彰式
- 12月20日(水) 左川ちか展・映画上映会「外人部隊」
- 12月23日(土) 文学館カレッジ(俳句・川柳の世界、講師：五十嵐秀彦)
- 12月24日(日) わくわくこどもランド(クリスマススペシャル「絵本の読み聞かせ」、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)

令和6年

- 1月7日(日) 左川ちか展・映画上映会「外人部隊」
- 1月8日(月) わくわくこどもランド(手作り教室・ウインターブックをつくろう！、講師：当館職員)
- 1月10日(水) 博物館実習(～1月17日)
- 1月14日(日) 左川ちか展・講演会「左川ちかと同時代の美術について」(講師：苦名直子)
- 1月16日(火) 常設展 文学館アーカイブ第4期「来道歌人の詠んだ北海道」(～3月24日)
- 1月20日(土) 第4回ロビー展示「北海道ゆかりの文学者2023年の主な受賞」(～3月10日)
- 1月21日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 2月1日(木) ミニ巡回展「ネコ！ねこ！猫！！」(～2月25日、厚岸町)
- 2月3日(土) 特別展「100年の時を超えるー＜明治・大正期刊行本＞探訪ー」オープン(～3月24日)
- 2月4日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「にじいろ」)
- 2月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 2月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 2月17日(土) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会①(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 2月18日(日) 第4回映像作品鑑賞のつどい「燃えよ剣」
- 2月21日(水) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会②(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 2月28日(水) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会③(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 3月2日(土) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会④(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 3月3日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)
- 3月3日(日) 100年の時を超える展・コンサート「歌声とともに」(出演：安達彩子、森希美)
- 3月6日(水) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会⑤(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 3月13日(水) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会⑥(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 3月16日(土) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会⑦(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 3月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「大江健三郎を読む」から古典へ、講師：工藤正廣)
- 3月20日(水) 100年の時を超える展・ミニ解説&朗読会⑧(解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)
- 3月24日(日) 横山マリアミルキーウェイウインターコンサート(財団共催)
- 3月28日(木) 常設展 文学館アーカイブスペシャル「加清純子作品公開」(～4月6日)

Ⅲ 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(令和6年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒卷 義雄	李 恢成
	工藤 正廣					〈7名〉
参与	小杉 捷七	佐々木 譲	高嶋 二郎	藤堂志津子	永井 浩	村田 俊秋
	辻脇 系一	谷 映子	出村 文理	野坂 幸弘	内田 弘	岡崎 守
	本田 優子	酒向 憲司	安高 誠吾	柴村 紀代	森 一生	

〈17名〉

役職員

理事長 1	平 原 一 良	監 事 1	中 村 孝 一	評 議 員 1	石 本 裕 之
副理事長 2	中 澤 千 磨 夫	// 2	阿 知 良 光 治	// 2	飯 塚 優 子
// 3	武 田 信 吾			// 3	岡 美 紗 緒
専務理事	苦 名 直 子			// 4	岸 美 千 代
常務理事 4	河 野 秀 平			// 5	熊 谷 ユリヤ
理 事 5	青 柳 文 吉			// 6	來 嶋 路 子
// 6	浅 川 泰			// 7	柴 田 望
// 7	五十嵐 秀 彦			// 8	田 口 耕 平
// 8	國 松 明 日 香			// 9	田 中 英 一
// 9	澤 田 展 人			// 10	田 村 文 恵 子
// 10	瀬 戸 正 昭			// 11	寺 田 容 子
// 11	高 橋 秀 明 夫			// 12	豊 川 三 春 子
// 12	立 花 峰 夫			// 13	中 村 尚 子
// 13	谷 口 孝 男			// 14	日 浅 美 和 子
// 14	中 館 寛 隆 子			// 15	藤 田 奈 央 子
// 15	成 田 康 公 美 夫			// 16	古 川 純 子
// 16	前 川 幸 司			// 17	升 井 植 歌 子
// 17	三 浦 明 彦			// 18	增 松 本 淳 子
// 18	若 宮 明 彦			// 19	松 本 淳 子
// 19	和 田 由 美			// 20	森 久 美 子
				// 21	盛 昭 史
				// 22	横 田 由 紀 子

収集資料選定委員会

理 事 長	平 原 一 良
理 事	青 柳 文 吉
理 事	中 館 寛 隆 子
理 事	成 田 康 公 美 夫
理 事	三 浦 幸 司
評 議 員	盛 昭 史

企画検討委員会

理 事 長	平 原 一 良
副 理 事 長	中 澤 千 磨 夫
副 理 事 長	武 田 信 吾
評 議 員	飯 塚 優 子
理 事	五十嵐 秀 彦
理 事	瀬 戸 正 昭
理 事	高 橋 秀 明 夫
理 事	谷 口 孝 男

令和5年度年報（令和7年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266